我, 新 · 我 我, 新 · 我 我, 新 · 我 我, 新 · 我 我, 新 · 我

2009年度環境活動レポート

対象期間: 2009年6月~2010年5月





我, 新、·我 我, 新、·我 我, 新、·我 我, 新、·我 我, 新、·我 我, 新、·我

マトヤ技研工業株式会社 2010年6月発行

20. M. - 18 20. M. - 18 20. M. - 18 20. M. - 18 20. M. - 18

目次



1	環境方針	2
2	組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	認証・登録の対象組織・活動	4
4	主な環境負荷の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	環境目標とその実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
6	環境活動の取り組み計画と評価	9
7	環境関連法規等の順守状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
8	代表者による全体の評価と見直し・・・・・・	11
9	環境活動の紹介	12

1 環境方針



マトヤ技研工業株式会社 環境方針

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、クーラント製品・遠心分離機・オイル浄化の製造・販売等の事業活動における環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって積極的に、環境保全活動に取り組みます。

く環境保全への行動指針>

- 1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 使用原材料の省資源、廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用) の推進
 - ③ 水資源の節水
 - ④ 化学物質の適正な管理及び清掃
 - ⑤ 環境に配慮した製品の開発・販売促進
 - ⑥ 地域清掃活動
 - これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
- 2. 環境関連法規等を遵守します。
- 3. 環境方針は全従業員に周知するとともに、社外に公表します。

制定日:2008年6月 1日

改定日:2009年6月15日

代表取締役 基留 稿一

2 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

マトヤ技研工業株式会社 代表取締役 益留 福一

(2) 所在地

本社

T899-8608

鹿児島県曽於市末吉町南之郷 3050-6

大阪営業所

〒561-0853

大阪府豊中市服部南町 1-4-10

東京営業所

T121-0011

東京都足立区中央本町 4-15-13

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 豊増 敏夫 (常務取締役)

環境事務局 益留 房代

連絡先 TEL 0986-76-0018

FAX 0986-76-2729

E-mail info@matoya.com

(4)事業内容

自動省力機器設計・製作および販売

(5) 事業の規模(2009年度: 2009年7月~2010年6月)

売上高 300 百万円

	本社	大阪営業所	東京営業所
従業員	26名	2名	2名



現在適用外

但し、3年以内に適用させる。

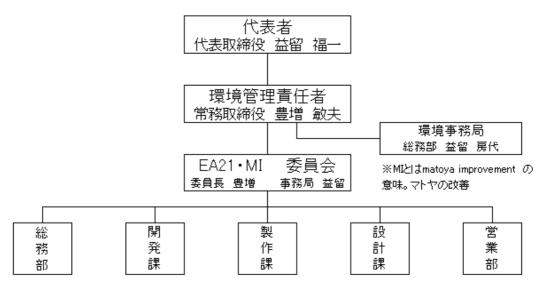
3 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:マトヤ技研工業株式会社 対 象 外:大阪営業所・東京営業所

活 動:自動省力機器設計・製作および販売







担当	役 割・責 任・権 限					
代表者	・環境経営に関する統括責任					
(代表取締役)	・環境管理責任者を任命					
	・環境方針の策定・及び全従業員への周知					
	・環境目標・活動計画書の確認及び承認					
	・代表者による全体の評価と見直しを実施					
	・環境経営マニュアル・環境活動レポートの承認					
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理					
(常務取締役)	・環境関連法規等とりまとめ表の承認					
	・環境目標・活動計画書を確認					
	・環境経営マニュアル・環境活動レポートの確認					
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口					
環境事務局	・環境管理責任者の補佐					
	・環境への負荷の自己チェックシート及び取組み自己チェックリストの実施					
	・「環境関連法規等取りまとめ表」の作成					
	・「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく遵守評価の実施					
	・環境目標・環境活動計画書原案の作成					
	・特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト・訓練・記録					
	・環境活動の実績集計					
	・環境経営マニュアル・環境活動レポートの作成、公開					
EA21・MI 委員会	・エコアクションに関する事項の審議・検討					
(各部門責任者)	・従業員に対する教育訓練の実施					
	・環境経営システムの実施・環境方針の周知					
	・関連する環境活動計画の実施及び達成状況の環境事務局報告					
	・特定された項目の手順書作成及び運用管理					
	・問題点の発見、是正、予防処置の環境事務局報告					
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚					
	・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加					
	・環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告					

4 主な環境負荷の実績

項目	単位	2007年度	2008年度	2009年度
電力CO₂炭素排出量	kg-CO ₂	61,252	50,264	43,993
燃料CO2排出量	kg-CO ₂	50,117	40,991	35,243
一般廃棄物排出量	kg	6,094	5,247	4,315
産業廃棄物排出量	kg	1,294	3,008	1,194
水資源排出量	m ³	486	508	426
化学物質	□	3	20	12
環境配慮製品販売量	台	5	7	9
地域清掃活動	口	6	8	13



5 2009 年度 環境目標及びその実績

1 二酸化炭素排出量の削減

① 電力の削減: 基準年比 92% ② 燃料の削減: 基準年比 92% 2 一般廃棄物の削減:基準年比 96% 3 産業廃棄物の削減:基準年比 99% 4 水使用量の削減:基準年比 107%

5 化学物質の低減 : 化学物質の適正な管理及び保管場所の徹底清掃

6 環境配慮製品の開発及び販売促進

: クーラント 製品 (加工機の冷却洗浄の目的に油性及び水溶性の液をかける。この液の浄化装置の事)及び遠心分離機等の販売促進

 2007年度販売実績 5台
 2008年度販売実績 7台

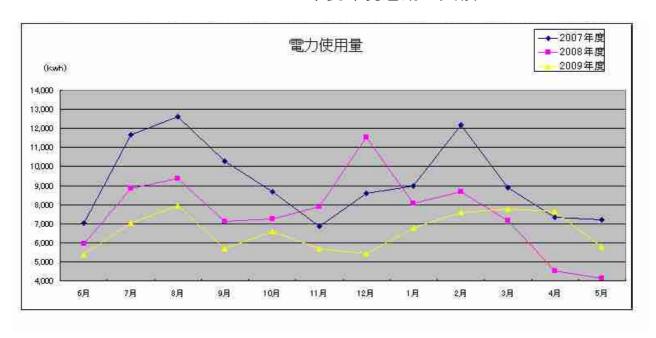
 2009年度販売目標 7台
 2010年度販売目標 8台

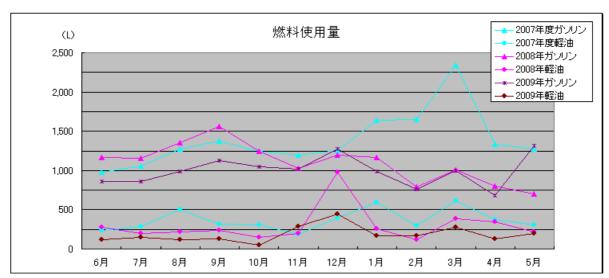
クーラントユニットの 開発

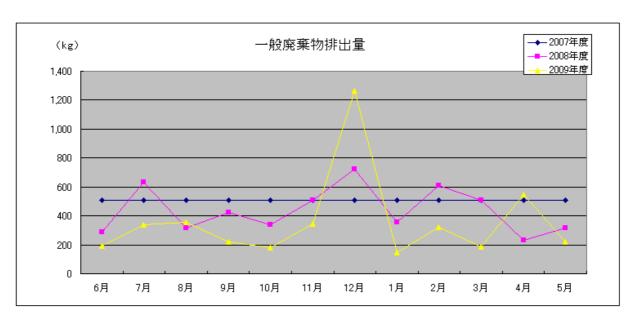
7 地域清掃活動 : 年8回行う予定

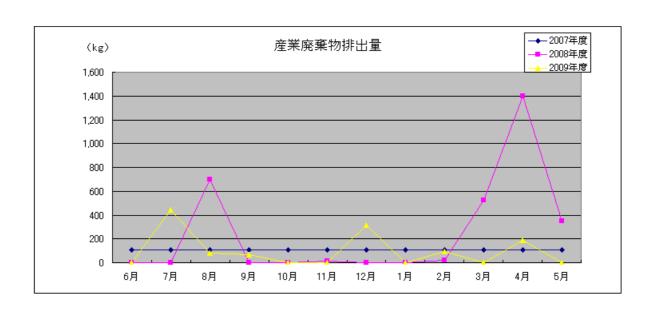
		2007年度 2009年度		2010年度		
項目	年度	基準年度	目標	実績	目標対比(%)	目標
_						基準年度比
電力CO ₂ 炭素排出量	kg-CO ₂	61,252	56,352	43,993	78.1%	55,739
电力002次系が山里	<u></u> 基準年度比		92%			91%
燃料CO。排出量	kg-CO ₂	50,117	46,108	35,243	76.4%	45,607
	基準年度比	Ł	92%			91%
一般廃棄物排出量	kg	6,094	5,850	4,315	73.8%	5,728
放洗未物が山里 	基準年度比	Ł	96%			94%
産業廃棄物排出量	kg	1,294	1,281	1,194	93.2%	1,268
	基準年度比	Ł	99%			98%
水資源排出量	m^3	486	520	426	81.9%	515
小貝你孙山里	基準年度比	Ľ	107%			106%
化学物質	回	3	12	12	100.0%	12
環境配慮製品販売量	台	5	7	9	128.6%	8
地域清掃活動	回	6	8	13	162.5%	8

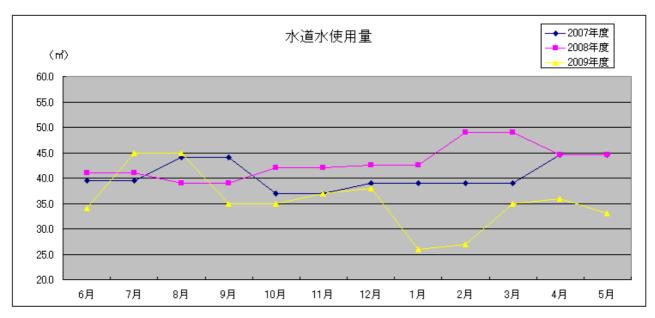
2009年度環境活動の実績

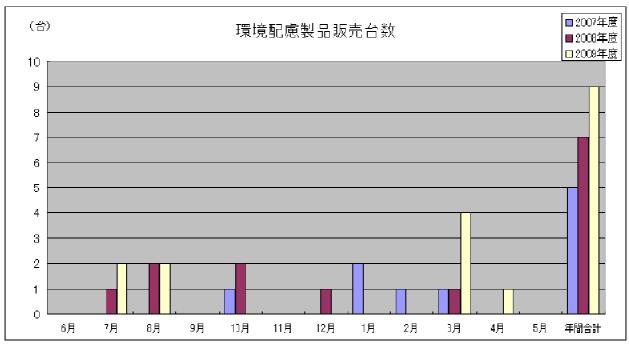


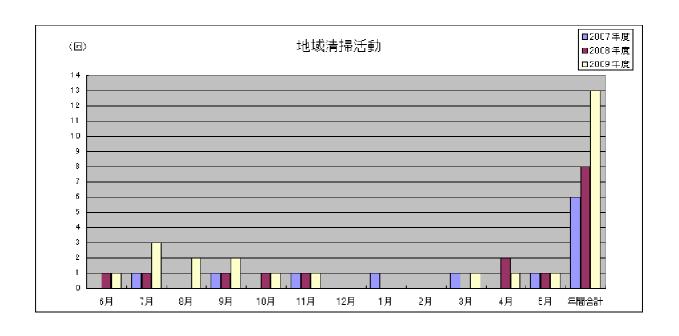














6 環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評 価 (結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減_	,	
· 冷房温度 2 8 ℃設定	0	
・暖房温度の18℃設定	0	ほぼ達成されたが、消し忘れが時々見ら
・不要・休憩時間照明の消灯	0	れます。まだ徹底を!フィルタは 水曜日
・OA機器のこまめ OFF	0	の掃除の時を使って清掃しましょう。
・エアコンフィルターの月 1清掃	0	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	,	
・アイドリングストップ	Δ	
・急加速発進の抑制	0	アイドリングストップは、現実はなかな
・冷暖房の控えめ使用 (25℃)	0	か難しい。
一般廃棄物の削減		
・裏紙使用	0	
・両面印刷コピーの徹底	0	- 裏紙は良く使用されています。
・ミスプリントを減らす	0	表似は及く区用で40くいより。
・雑誌、カタログダンボールの再生利用への徹底	0	
産業廃棄物(廃プラ)の削減	•	
・委託処分廃棄物の削減	0	クーラント装置を取り付けたが、良い結
・工事での産廃の分別徹底	0	果が得られなかった。今後も再度挑戦し
・廃油を減らすために自社のクーラント装置を取り付ける	Δ	たい。
<u>節水</u>		
・雨水の有効利用(洗車等)	0	
・節水蛇口の交換	0	良く出来たようです。継続していきます。
化学物質の低減		
・化学物質の適正な管理及び清掃	©	 清掃・整頓できました。在庫も使用しな
・塗装場清掃毎月 1回 (年 12回の徹底)	0	い物は、処分を進めて行きます。
・在庫管理を行い在庫を減らす	0	
製品への環境配慮		
・クーラント製品・遠心分離機等環境配慮製品の販売促進	©	販売目標は達成しましたが、更なるアッ
四時間を刑力。こい)制日間マスウ		プを目指します。アルミフィルタを開発
・環境配慮型クーラント製品開発予定	0	して販売しました。
<u>社会貢献</u>	1	
・公民館の清掃	0	皆よく頑張って目標を大きく上回ってく
・周辺道路の清掃	©	れました。地域の人からもお褒めの言葉
WASSESSEE - HAAR		をいただきました。

環境関連法規制等の違反、訴訟の有無



法的義務を受ける主な環境関連法規制 は次の通りである。

適用される法規制	規制內容	適用される施設、物品等
廃棄物処理法	収集運搬・処分を許可業者に委託	廃プラ、金属くず、廃油
(産業廃棄物)	(委託契約・産廃管理票発行・5 年間保管)	
	保管置場の表示	
	産業廃棄物管理票交付等状況の行政報告	
浄化槽法	設置届出・浄化槽の維持管理	合併浄化槽
	定期点検・定期清掃・定期水質検査	
自動車リサイクル法	自動車の廃棄時にリサイクル料金支払い	自動車
家電リサイクル法	家電製品の廃棄時にリサイクル料金支払い	TV、冷蔵庫、洗濯機 家庭用エアコン
改正リサイクル法	パソコンの部品資源回収	社内パソコン
	メーカーへの引取り手続き・リサイクル	
騒音規制法	特定施設の届出 空気圧縮機 7.5 k w 以上 規制基準の遵守	空気圧縮機 7.5 k w 2 台
振動規制法	特定施設の届出 空気圧縮機 7.5kw以上	空気圧縮機 7.5 k w 2 台
	規制基準の遵守	
水質汚濁防止法	事故時の応急措置、届出	灯油・潤滑油・切削油・部分
		洗浄バス・硝酸
PRTR 法	MSDS の収集管理・届出(年 1 t 以上の場	有機溶剤 シンナー
	合)	
消防法	届出(指定数量以上保管の場合)	第4類:引火性液体
	指定数量 1 以上:危険物倉庫	メタノール・アセトン
	危険物取扱資格者の設置	シンナー
	指定数量 0.2 以上: 少量取扱所	
	事故時連絡	
毒物及び劇物取締法	保管場所の表示	硝酸・メタノール
	盗難、流出防止	
労働安全衛生法	有機溶剤の適正な管理・MSDS の周知	アセトン・シンナー
		メタノール
特定化学物質障害予防規則	密閉化・漏洩防止・腐食防止	
有機溶剤中毒予防規制	MSDS の周知・掲示・換気・保護	
フロン回収・破壊法	フロン類の適切な処理、回収・破壊の工程	
	の確認、規制基準の遵守、引取・処理証明	
	書交付保管	

環境関連法規及び条例等への違反、また訴訟等の有無について、平成21年6月から1年間のチック リストを平成22年6月に確認した結果は、下記の通りである。

①法律違反等の有無:無 ②訴訟等の有無:無 ③苦情や要望等の有無:無

8 代表者による全体の評価と見直し



1. 環境活動の取組み結果の評価

昨年以上に受注は落ち込み、この事が環境面には好結果をもたらした事は明らかです。 環境配慮製品の販売も、地域清掃活動、電力削減、社有車・燃料削減も全てにおいて、年間目標が達成出来た事を評価します。

交差点での車のアイドリングストップは 実際にはエンスト等を生じ、交通への影響も生じるので、実施時には注意をするように 周知する。

2. 実績の評価

夏に水道の使用量が増えた原因の、商品試運転 テストに使用した水を再利用 する対策が必要な事がテーマに 成って来ました。

電気の使用量は照明の削減、電源の削減、冷暖房の徹底的な温度管理により前年比 12%余、基準年比 28%余の削減が実現しました。社員全員の努力の表れです。

燃料使用量も前年比約14%もの削減です。

一般廃棄物は、会議用資料の両面印刷や裏紙の利用等意識が変わり、裏紙が足りない状況に成っています。前年比より17%余の削減です。ダンボール、プラスチック等リサイクル出来るものは、全て再生利用へ。廃棄物と資源ごみの分別も完璧に行ないました。

産業廃棄物は、7月、12月は大幅にUPとなりましたが、大掃除した結果です。年間累計では基準年、前年比共に減少しました。

環境配慮製品の販売実績も目標を上回りました。

3. 今後の取組み

水道水節水は雨水タンクの増設、商品の試運転に使用する水のリサイクル対策を進めます。 化学物質は特に塗装色の種類削減を、営業が顧客と話し合い、減らす協力して頂くことを 図って、塗料の量削減を図ります。

環境配慮製品の販売を進め10台以上を目標にします。

地域清掃活動は引き続き行います。

社有車はリース契約切れの車のコストを見てエコカーなど検討します。

廃棄物は削減に努めていきます。



9 環境活動の紹介



1 環境方針の周知



2009年7月

2008 年度の実績報告と 2009 年度の 環境活動の計画についての社員研修を 行ないました。

環境掲示板 一

社内2ヶ所に環境掲示板の設置



2 環境関連法規の遵守







火災受信機と消火器・・火災を感知したら警報がなります。 消火器は 10 5所に設置してあり工場配置図に記入されています。



3 二酸化炭素排出量の抑制



電気スイッチ 節電呼び掛けの張り紙です。 休憩・退社時消灯確認



エアコンスイッチの温度表示 暑い夏は冷房 28℃ 寒い冬も暖房 18℃ 温度を徹底して守りました。

車両関連



エコドライブ 10 全車両に取り付けてあります。 全社員エコドライブ実施中です!

緑のカーテン



緑のカーテン用の「ゴーヤ」の苗を 植えました。夏が楽しみです。

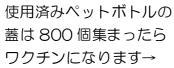




4 資源の効果的活用の推進



ミスコピーの裏紙利用 ←両面コピーの徹底 その結果、裏紙が無くなるほど。





基本のゴミの分別は徹底されています ←工場内も 資源ゴミ・燃やせるゴミ 燃やせないゴミの袋分けされています。



工場内の電材ごみも、分別されます→

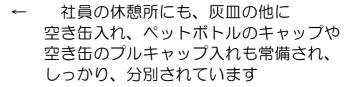


←集められたゴミは、雨水等が入らないよう に逆さまにして、ゴミステーションに置きます。





自動販売機の周辺に煙草の 吸殻等が捨てられていましたので 灰皿を設置し、注意の張り紙もしました。





←産業廃棄物保管場所では、 鉄くずなど、再利用出来る材料は業者さんに

買い取って頂き、産廃を減らしています。



勿論、ダンボールもリサイクル



500L は余裕で入るマトヤお手製雨水タンク。 このタンクの水での洗車作業。 1日降れば満タンになります。 さらにもう1タンク増設する予定です。



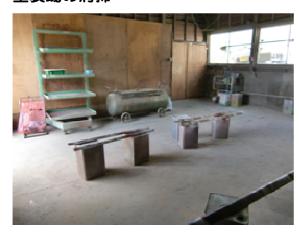




社内の水道の蛇口も、シャワーノズルにして、 節水効果を得ています。

5 化学物質の適正な管理及び清掃

塗装場の清掃



← 整理整頓されて、定期的に清掃も 行なわれています。

6 製品への環境配慮

環境配慮型クーラント製品の開発・販売



アルミフィルタコンベヤ 濾過式セパレーターであり、マグネット式 セパレーターでは回収出来ないアルミなどの 非磁性体切粉をクーラント液から回収して クーラント液を清浄化するものです。 今期、開発して販売もしました。



7 地域の環境保全事業への参加

駐車場・ 周辺道路の清掃





2010年4月会社周辺の道路清掃をしました。自治会からも大変喜ばれています。

家畜の伝染病口蹄疫の予防

2010年4月宮崎県に口蹄疫が発生し、非常事態宣言が出されました。 当社は宮崎県との県境に位置し、周辺も酪農農家がある為に、いち早く対策を行いました。





玄関には、消毒用マットと注意書きの札。



玄関内の受付カウンターには、消毒スプレー



会社の入り口の交差点には消毒用の消石灰を撒きました。